

ボローニャ大学協定留学 月例報告書（2月）

芸術文化学科4年 土居優莉

Buongiorno!

Buongiorno! 芸術文化学科4年の土居優莉です。2月は毎日授業で忙しくしているなか、寒い日が続きインフルエンザや風邪が流行っていてすこし体調を崩すこともありましたが、さまざまな場所を訪れたりたくさんイタリアや日本の文化に触れたりした、もりだくさんな1ヶ月でした。

イタリアのカーニバル

2月にはイタリアでは各地でカーニバルの催しが行われます。私は今回、中でも有名な2つのカーニバルを訪れました。ひとつ目はヴェネツィアです。ヴェネツィアのカーニバルといえば、やはり仮面ですね。ヴェネツィアの駅に着いた瞬間からあたりは仮面をつけて仮装をした人々でいっぱい、まるで仮面舞踏会に紛れ込んだかのような感覚でした。あまりの混雑に道が規制され、メインのサン・マルコ広場にたどり着くまでに通常時の2倍以上の時間がかかりました。そもそもカーニバルは日本語では謝肉祭といい、キリストの復活を祝う復活祭 Pasqua の40日にあたる四節句で食事の制限や償いなどを行う前に、肉を食べ、しっかり準備をしようという意味を込めて祝うようになりました。ヴェネツィアでは階級や年齢、性別などにかかわらずすべての人が平等にカーニバルを楽しむことができるように仮面を身に付けるようになったと言われています。



↑ ヴェネツィアのカーニバルで仮装した人々

そして私は今回、トスカーナ州にあるヴィアレージョという街のカーニバルにも足を運びました。ヴェネツィアの厳かで高貴な雰囲気の方で、こちらは街の中心で大きな山車のパレードを行う壮大で賑やかなお祭りです。大音量でポップミュージックが流れ、自由に踊ったり歌ったりしてノリノリでした。大きいもので高さが20メートルにもなる巨大な山車は、紙と糊を混ぜた素材で作られており、人力で動きます。この数ある山車の中には社会風刺的なメッセージを含むものもあります。今年はイタリアの首相を決める大きな選挙で新たに首相に就任し賛否を呼んだジョルジャ・メローニ氏のものもありました。また、カーニバルの季節になって、訪れたどの街でもまたボローニャでも、地面に色とりどりの紙吹雪がたくさん散らばっているのを見かけるようになりました。気になって友だちに尋ねてみると、Coriamdoli と言うそうで、主に子どもたちが投げて遊ぶそうです。ヴェネツィアでもヴィアレージョでも突然背後

からかけられ、みんな一日中 Coriandoli まみれでした。同じカーニバルでも街によってお祝いの仕方がこんなにも違うとは思っていませんでしたので、それを実際に感じる事ができてとてもおもしろかったです。



↑メローニ氏をモチーフにした山車
↓友だちとヴィアレージョの海で



Bologna Comics

この日はボローニャで開催されたアニメやマンガのイベントに行ってきました。日本や日本のアニメが大好きな人がたくさん集まるイベントだと聞いていたのですが、会場に着くと想像以上にたくさんの方がいて、さらに、多くの人がアニメのキャラクターのコスプレをされていてとても驚きました。アニメなどの日本の文化が世界中でも人気があることは知ってはいましたが、実際に日本から遠く離れたイタリアでたくさんのファンの姿を見ることができて

とてもうれしく、誇らしい気持ちになりました。それと同時に私もイタリアの文化が大好きで、もっと知りたいなと強く思いました。今回一緒に行った友だちは日本のアニメを観たことがきっかけで現在大学で日本語を勉強しています。お互いの言語や文化を教え合いながら過ごす時間はとても楽しく、有意義なものになっています。



↑鬼滅の刃のコスプレをした人々

サンレモ音楽祭

イタリアでは毎年2月にサンレモ音楽祭が開催されます。リグーリア州のサンレモという街で行われるイタリアのポピュラー音楽の祭典で、テレビでも生放送されています。1年に1回開催される音楽の祭典という点は日本の紅白歌合戦と同じですが、異なる点もいくつかあります。まず、サンレモ音楽祭は紅白のように一夜限りではなく、毎年5日間にわたって行われます。また、参加するアーティストはすでにリリースした曲とは別の新曲1曲をサンレモ音楽祭のために書き下ろし、最初のステージで初披露します。期間中にエキシビジョンも含めてひとりにつき3回ほどパフォーマンスを行い、最終日には審査員や国民の投票によって優勝者が決まります。2023年の優勝者は Marco Mengoni さんで、私のお

気に入りの Mr. Rain さんは4位でした。イタリアでは毎年多くの人が家族や友だちと観て盛り上がるそうです。私はハウスメイトとピザを食べながらテレビで観ていました。次の日に学校に行くと、どの曲が好きだったか、誰が優勝しそうかななどの話題で持ち切りになっていて、サンレモ音楽祭の人気さがわかりました。

大学の授業の様子

新しい授業が始まって1ヶ月が経ち、内容もどんどん進んでいます。すべてイタリア語での授業なのでわからない言葉も多くまだまだ難しいですが、以前よりも理解できることが増えてきたので楽しく学ぶことができます。しかし複数の授業を受けて共通して感じるのは、圧倒的な基礎知識の不足です。日本では高校まではほとんどの人が同じことを勉強し、専門的な内容は大学に入って専攻が決まってから学びます。しかし、イタリアでは高校の時点から自分の学びたいことを選んで学ぶことができるので、学生は大学に入学するときにはすでに多くのことを知っています。そのため時々今の自分には難しすぎたり、深すぎる内容だと感じたりすることがあります。親切な友人にノートを見せてもらったり、参考になる資料を教えてもらったりすることも多々ありお世話になってしまっていますが、このように周りの力をお借りしつつ少しでも授業についていけるように勉強しようと思います。

食べ物のはなし

先日行ったトラットリアで、Tortelli di zucca というかぼちゃが入ったパスタを食べました。語学学校に行っていたころ先生に、おいしいから見つけたら絶対に食

べてね、と言われていたのですがなかなか出会えていませんでした。たまたま入ったお店で見つけて、ようやく食べることができました。Cacio e pepe というチーズと胡椒の味付けが本当に美味しくて、ひと口でお気に入りになりました。



↑ Tortelli di zucca

おわりに

イタリアにきて半年が経ち、留学生活も残り半分を切りました。何をするにも緊張していたころに比べると、落ち着いて毎日を過ごすことができるようになりました。ハウスメイトや学校の友だちともさらに仲良くなり、本当に楽しく過ごすことができます。憧れのボローニャ大学で学ぶことができるのもあと少しなので、悔いのないようにひとつひとつのことに丁寧に向き合おうと思います。最後まで読んでいただきありがとうございました。